

一年中三六五日、朝八時から午後八時までが営業時間 心がけていることは、常に作ることです

日の丸屋 細川丈夫 仏壇店 (福井)

日の丸屋細川丈夫(たけお) 仏壇店は、福井仏壇の製造元の一つとして元気に動き回っている。その元気の源が二代目の細川善弘さん。がっしりとした体と笑顔が素敵な職人さんだ。

今年四十一歳の善弘さんは高校卒業と同時に鹿児島川辺の金仏壇職人の元で住み込みで二年間修業を積んだ。「下地のヘ

んとはずっと交流があり、あちらから福井に青貝塗りを学びに来られたこともあり」と善弘さんは語る。

県の親友を訪ねた際に、その友人は平日にも拘わらず日の丸を掲げて細川氏を迎えてくれた。「福井から遙々来てもらったのに、なんのおもてなしも出来ない、せめて日の丸を掲げてお迎えさせてもらおう」という言葉に感動して「日の丸屋」という屋号になったという。

細川丈夫仏壇店の営業時間は午前八時から午後八時まで、年中無休。初

代、二代とも住み込み修業経験のある仏壇店だけのことはある。なにしろ働きの店だ。「常に心がけているのは一機種で十本から二十本単位で作っています」と善弘さんは語る。

職人さんだ。今年四十一歳の善弘さんは高校卒業と同時に鹿児島川辺の金仏壇職人の元で住み込みで二年間修業を積んだ。「下地のヘ

ら付けから漆塗りまで習いました。川辺の職人さ

ら付けから漆塗りまで習いました。川辺の職人さ

ら付けから漆塗りまで習いました。川辺の職人さ

ら付けから漆塗りまで習いました。川辺の職人さ

ら付けから漆塗りまで習いました。川辺の職人さ



日の丸屋細川丈夫仏壇店 2代目の細川善弘さんと妻の陽子さん



木造三階建ての社屋の中は、作業途中の仏壇で埋まる 修理品受注は確実に増加



日の丸屋のロゴ入りTシャツ 外での仕事では特にアピール度が高い



左は仏壇公正競争規約に拠る表示 右はこの仏壇を製作した福井仏壇工芸会の会員名を記した表示札

師・小林定志(坂井市安沢町) 箔押師・高島民典(鯖江市石田下町) という職人名が所在と共に明記され、仏壇が「福井県指定郷土工芸品」であり、「福井仏壇工芸会会員」による製品であることが明記される。

「最近ではヘラを使いこなす職人が少ないのが悩みでしょうか。宮殿も木地も作りにくくなっています」と細川さんは語る。

寺院の仕事もあり、数年先まで仕事の予定は詰まっている。仕事の質と、仕事への姿勢が評価されていることだろう。

◎日の丸屋細川丈夫仏壇店 TEL〇七七六(五二)一一八九 FAX〇七七六(五二)六一七七